

＜事務職＞

Q. 県庁や国家公務員ではなく、市役所を選択した理由はなんですか？

A. 国や県の仕事に比べて住民に身近な仕事に魅力を感じ、住民の方と接する
なら市役所のほうが良いと思ったからです。また人事異動によって様々な業
務に携わることができる点も魅力に感じています。

Q. 津市を志望した理由は何ですか？

A. (職員A)

生まれ育ったまちであり、人の温かさや自然環境豊かな点が好きであること
と、市域も広く県庁所在地としての可能性を持ったまちなので、津市に決め
ました。

A. (職員B)

津市に住みたいという気持ちから始まり、インターンシップで市職員が仕事
をする姿勢に憧れ、津市に入庁しようと思いました。

Q. 出身地によって不利なことはありますか？

A. (職員A)

ありません。私自身津市出身ではありませんし、同期の中にも市外、県外出
身の人は多くいます。

A. (職員B)

家族の事情で津市を選択しましたが、採用されるまで津市に全く関わりはあ
りませんでした。また津市外から通勤している職員もいます。「市民でなく
ても津市を受験する理由」がはっきりしていれば良いと思います。

Q. 普段どんな仕事をしていますか？

A. (職員A)

市に入ってきた税金をお預かりし、その管理を行っています。一例ですが、
多く納め過ぎた税金に対する還付金の対応や納付を忘れないための督促状を
月に一度発送する業務などを行っています。

A.（職員B）

ボートレース津の舟券の売り上げを伸ばしていくために、広報活動、イベントを実施し、顧客の満足度を高めていく仕事をしています。

Q.仕事のやりがいをどういった時に感じますか？

A.（職員A）

基礎的なことから専門的なことまで幅広い知識を身に付けることができ、事業者の方と協議や交渉をして津市のまちづくりを行っていくことにやりがいを感じます。

A.（職員B）

学校給食の仕事に携わっており、安心安全な給食を提供することは当然ですが、日々の些細な業務でも、子どもたちの笑顔につながっていると思うとやりがいを感じます。

A.（職員C）

市政運営の基礎となる貴重な税金の管理を行っていると思うと、日々の業務にやりがいを感じます。また、市民からの税金についての問い合わせに回答し納得してもらい、または感謝してもらったときにやりがいを感じます。

Q.仕事をするうえで気を付けていることはありますか？

A.（職員A）

仕事は人と人とのつながりなので、感謝の気持ちを伝えることを心がけています。また、与えられた仕事をこなすだけでなく、自分なりに工夫をして、自分のできる仕事の領域を増やすようにしています。

A.（職員B）

個人情報扱っているため、一つ一つの業務を丁寧に行っています。中でも特に気を付けていることは督促状の発送と証明書の発行です。督促状は滞納処分の前提条件となるため、誤発送は市民の方の信頼を失うことになるので気をつけています。また、証明書の発行は公が認めた文書になるので、発行の際には間違いがないか一層気を付けています。

Q. 文書の作成などが大変ではないですか？

A. 文書作成については、文書作成の手引きがあるので、それに従って作成できますし、研修等もあります。また、津市にはプリセプター制度（1年目職員に先輩職員が指導者としてサポートする制度）もあるので、先輩職員に書き方や内容を確認してもらえます。

Q. 仕事で苦勞したことはありますか？

A.（職員A）

許可を行う部署であるため、法的な思考や専門的な技術知識が必要となります。ご要望を頂いた住民の方や事業者の方のご期待に添えられないこともあり、ご理解を頂くための対応で苦勞をすることがあります。

A.（職員B）

津市は平成18年に10市町村が合併したのですが、各地域にそれぞれのルールが現在も存在していることから、そのルールを統一化することに苦勞しています。

A.（職員C）

税金を納めていない人に対して、納めるように指導する立場ですが、厳しい言葉を受けることも多く、納得してもらうように説明することが大変でした。

A.（職員D）

業務のスケジュール管理です。業務は締め切りに厳格なものが多いため、業務の優先順位をつけるのに、苦勞しました。担当として1年目の業務であるとなおさら、行う業務にどれくらいの時間がかかるかもわからないため、上司や関係課、関係機関と密に連絡を取り合い、ひとつずつ業務をこなしました。

Q. 若手職員が意見を発する場面はありますか？また、その意見を踏まえて変化していこうとする姿勢はありますか？

A. あります。何か問題が発生したとき、新しいことを始めるとき、その都度担当で話し合い、ルールを決めていきます。会議では自分も意見を発する機会があり、意見が採用されることもあります。

Q. 同期のつながりはありますか？

A. あります。新型コロナウイルス感染症が拡大してからは会う機会が少なくなってしまうしましたが、以前飲み会をしたりして交流を深めていました。仕事について課を超えて気軽に相談等ができる存在です。

Q. 残業は多いですか？

A. (職員 A)

残業することはありますが、帰りにくい雰囲気はありません。

A. (職員 B)

時期にもよりますが、忙しくない時は定時で終わります。繁忙期は月の残業時間が 45 時間を超える場合もあります。

Q. 若手職員でも休暇はとりやすいですか？

A. 取りやすいと思います。課の繁忙期になると、業務量が多いため、忙しくて取れない場合もありますので、計画的に休暇を取得するようにしています。

Q. 働く前と後で感じたギャップはありましたか？

A. (職員 A)

残業があることと、自ら考え物事を進めていく機会が多くあることにギャップを感じました。

A. (職員 B)

市役所で働く方は固いイメージがありましたが、入ってみると気さくで親切な職員が多く、職場の雰囲気もとても良いと感じました。

Q. 尊敬できる上司はいますか？尊敬できる上司の共通点等がありますか？

A. います。1・2年目で、わからないこと等があったときに一緒に悩み、優しく指導いただきました。共通点は優しく社交的なため、人が集まりやすいことだと思います。多くの職員から慕われており、関係課等との連携が円滑であると結果的に仕事がうまく回ると感じました。津市役所には多くの職員がおり、自分にとって尊敬できる職員がきっと見つかるはずです。

Q. 個人として思う、職員に必要な能力はありますか？

A. 相手の話に傾聴でき、自分の考えを示せることが大切だと思います。

Q. どんな人に入ってきてほしいですか？またどんな人と仕事したいですか？

A. 市役所の業務は、色々な方と協力して行うことが多いため、周りをよく見て、協力できる方に入庁してもらいたいですし、そういう方と一緒に仕事をしたいと思います。

Q. 民間企業と市役所の仕事の違いはありますか？

A. 民間企業は利益を求める一方、市役所は他と競合する業務ではない点が異なっています。ただし市役所には予算があるので、費用対効果の考え方は必要となります。また市役所の業務で何かを発注する場合には、入札等で透明性・公平性を確保する必要があるので、柔軟性が少なく小回りが効きづらい面もあります。

Q. 公務員一本の就職活動はどう思いますか？

A. 職員の中でも、公務員を目指して公務員一本で就職活動をしていた者も多数います。ただ、自分の視野を広げてみるということで、就職活動を通じ、民間企業がどのような仕組みなのか、どのような仕事があるのかなど、理解を深めてもらうことも有益になると思います。